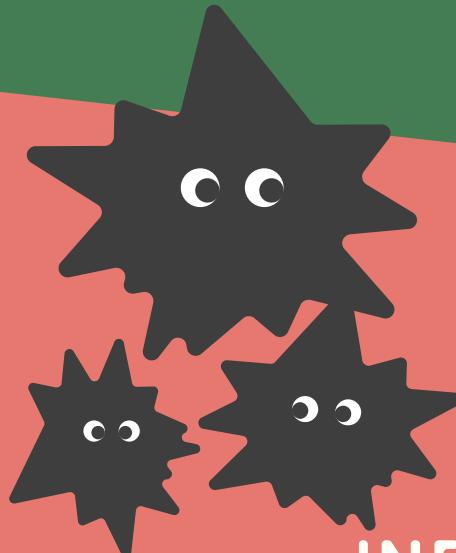


感染症

をとつても
病を持つても
今を生きる
暮らしの支援をする情報紙

No.09 11
2016

病原性の微生物が人の体内に侵入することで引き起こす疾患を感染症といいます。みなさんもよく耳にする身近な感染症として「ノロウイルス」「インフルエンザ」「溶連菌」などがあります。



INFECTION

身近な

感染症を おさらいしよう！

いざという時に備えて、みなさんもよく耳にする「ノロウイルス」「インフルエンザ」「溶連菌」などの身近な感染症について一緒におさらいしましょう！

ノロウイルス

寒くなる時期に流行する**食中毒**です。食中毒は夏場だけではありません。

● 症状

繰り返す激しい嘔吐と下痢症状が有名です。

● おさらいポイント

嘔吐、下痢が原因で脱水になるため、水分補給が必要です。また、ウイルスは便や吐物にいるため、片付けの際には、マスク、手袋などを着用し、必ず十分な流水で手洗いをしてください。**家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤を使用して衣服の消毒を行うと効果的**です。

インフルエンザ

毎年11月～2月頃に流行し、一番耳にする感染症ではないでしょうか。

● 症状

突然38度以上の高熱や全身倦怠感、咳、のどの痛みなどです。**高熱によるふらつき転倒に注意が必要です。**

● おさらいポイント

発熱直後はインフルエンザ判定が難しい場合があるので、待てる時は、時間をおいて受診をお勧めします。インフルエンザには、予防接種がありますので、**流行時期前には予防接種を行いましょう！**

ようれんきん 溶連菌

主に**のどに感染**し、咽頭炎や扁桃炎、紅い発疹を伴う**発熱（猩紅熱）**が現れることあります。

● 症状

38～39°C発熱とのどの痛みです。体や手足に紅い発疹が出たり、舌にイチゴのようなツブツブができたりします（イチゴ舌）。風邪と違って咳や鼻水はほとんどないのもこの病気の特徴です。

● おさらいポイント

治療は抗生素で行いますが、**症状がなくなっても、指示期間通り薬を飲む必要があります。**

予防接種や手洗い、うがいなどの日頃の対策で予防が可能です。しっかりと実施しましょう！あさのクリニックでは、感染症迅速検査をおこなっています。お気軽にご相談ください。ノロウイルスの迅速検査は3歳未満、65歳以上の方のみ保険診療で、その他の方は自費にて検査が可能です。